

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2002年8月6日

気温は平年より1～6度F低い一週間となった。州南西地区と北中央地区では全く降水を記録しなかった。カスケード山脈の南部と東部の乾燥地帯での森林火災は更にその範囲を広め、計590,000エーカーに達したと報じられている。

冬小麦は70%（昨年同期：61%、平年：51%）、春小麦は50%（昨年同期：47%）が収穫された。冬小麦の収穫は極めて早い進捗を示している。現在まで降雨が無い事より、発芽粒の発生への心配は殆ど無い。

2002年7月1日付け農務省発表の冬小麦の生産量予想では、単収40.0bu/ac（6月1日：47.0bu/ac）、収穫面積750,000エーカー、収量30,000,000ブッシェルである。春小麦の生産量予想は、単収27.0bu/ac（昨年：30.0bu/ac）、収穫面積予想：155,000エーカー（昨年：175,000エーカー）、収穫量：4,195,000ブッシェル（昨年：5,250,000ブッシェル）となっている。

2002年8月4日現在：

土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	42	44	14	0
Subsoil (%)	44	42	14	0

作物進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5 - yr Ave.
Winter wheat Harvested (%)	70	51	61	51
Spring wheat Harvested (%)	50	39	47	na

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

2002年産のソフト・ホワイト小麦の品質は、昨年より水分は低く8.2～8.98%、蛋白質は11%以上、容積中は平均59.91bs/bu程度である。1000粒重は35.3gの報告がある。狭雑物並びに萎縮粒は2001年産より多い傾向である。